

# 支えあういのちと愛

～千葉の会だより～

6月号 2016. 6. 1

発行：千葉骨髓バンク推進連絡会  
〒267-0054 千葉市緑区大高町 18-37 北村方  
TEL/FAX 043-497-5083  
<http://www.marrow.or.jp/chiba/>

## 新任 石出薬務課長のご挨拶

千葉県健康福祉部薬務課課長の石出でございます。

千葉骨髓バンク推進連絡会におかれましては、日頃から骨髓バンクのドナー登録の推進について多大なる御尽力をいただき厚くお礼申し上げます。

昨年度は貴会が126回にもおよぶ登録会に説明員を派遣していただいたこともあり、本県では前年度を上回る737名の新規ドナー登録者を確保することができました。

しかしながら、55歳でドナー一定年を迎える方が増加し、ここ数年ドナー登録者数が頭打ちになっております。日本の人口の年齢構成を見ても、今後登録可能な年齢の人口は減少することが予想されることから、ドナー登録者数の確保に、より一層注力していかなくてはなりません。

また、欧米では主流となっている末梢血幹細胞移植は、侵襲性が少ないなどドナーが受け入れやすい方法であることから、末梢血幹細胞移植の普及についても推進したいと考えております。

白血病などの重い血液疾患の患者さんにとって、造血幹細胞移植は最後の希望です。

今後も、重い血液の病気から助かる人がひとりでも増えていくように千葉骨髓バンク推進連絡会と連携し、啓発用リーフレットを配付するなど広く県民に対する普及啓発を実施し、ドナー登録を推進してまいりますので、御協力よろしくお願ひします。

## 第26回 定期総会 5月8日(日)

千葉骨髓バンク推進連絡会の定期総会を18名の参加にて船橋市勤労市民センター特別会議室で開催しました。総会では、27年度の事業報告・決算報告・28年度の活動方針と計画・予算案の採択がされ、役員改選が行われました。

27年度の活動の中で特徴的だったのは登録会の倍増です。(62回→126回)今年度も登録会、説明会、普及啓発活動を開催し、登録者増に取り組んでいく事を討議、他にもドナー助成制度の推進について等々活発な協議がなされ、その後議事は全て承認されました。総会終了後は、恒例の懇親会でこちらも盛況でした。(北村美)

### ◆平成28年度活動方針

平成26年1月1日に施行された造血幹細胞移植に関する法律は、全国的には目に見える動きが見えません。来年には法令の見直しがありますので、全国協議会とも協力し厚生労働省に働きかけます。ドナー助成制度は、船橋市が千葉県で3番目の導入を果たしましたが、県、各市に引き続き要望します。タオルキャップ作成活動は、今年も充実して参ります。今年も「コンサートと落語会」を開催し、「アクアラインマラソン」で普及啓発を行います。また末梢血幹細胞移植が更に普及するよう啓発活動を行います。本年も皆様方のご支援を宜しくお願ひ致します。(梅田)



## 啓発活動

### どきどきフリーマーケット

5月3日～5日ゴールデンウィーク期間中、今年も恒例の幕張メッセ”どきどき”フリーマーケットで献血併行登録会を実施しました。

会場はフリーマーケットの他に物産市、各地のグルメ、ステージでにぎわいます。献血登録会会場1日目の3日は今年も県薬務課から参加頂いた館岡副課長、春田さんと一緒にギフトオブライフ、ティッシュを配布しながら献血、ドナー登録の声掛けをいたしました。またこの日は2名の新説明員研修会も行い、梅田会長が講師となった実施研修も無事に終了いたしました。

4日は強風のため京葉線がストップ、内房線も遅れが出て集合時間に少し遅れましたが予定どおり会員5名で声掛け、呼び込みを行いました。

最終日の5日は、声掛け時にティッシュ、ギフトオブライフに加え漫画仕様の冊子「ぞうけつおかん」も読みそうな方に配布してみました。その場で読み始め見いている子もいました。

3日間のフリマ入場者は201,126名もあったそうです。期間中のドナー登録者は12名、千葉の会からは17名が参加。声掛け呼び込み時に登録済の方もいらっしゃいましたが、入場者の数から見ると登録者はまだまだ増えそうな気がいたします。(山本栄)



## 献血併行登録会

### 茂原市保健センター 4月4日(月) 説明員：北村美・円東

今回の登録会から改定版チャンスへの登録記入となりました。登録情報の取り扱い欄(再生医療用iPS細胞ストックへの協力)については、日赤から案内文書を送付してよいかどうかに重点を置き説明することを、事前に打ち合わせてから開始しましたが、混乱もなく全員了解を得られました。

本件については日赤現場担当者も詳細は把握しておらず、内容について簡単に改訂版チャンスを用いて説明しました。

この会場は保健センターですが、茂原中央ライオンズさん主催で献血が実施されており、朝から多くの方が順次来られました。しかし、午後はその勢いも少なくなつて結局予定数80名位の人数に落ち着きました。その中で登録者は3名となりましたが、まずまずの結果ではないかと思えます。(円東)



登録3人・説明0人

### 千葉商科大学 4月13日(水) 説明員：柴谷

天気予報が外れ、小雨まじりの風が強く寒い一日で黄色いジャンパーが多いに役立ちました。数年前に来た時の設置場所は木々の間にテントでしたが去年位から建物(校舎)のピロティになったらしいです。ピロティにテント(周りを透明網入りビニールで囲む)を設営中で説明をしました。昼前から寒さが強くなり日赤さんが2台ストーブを用意してくださいました。4月にストーブを点けての登録会は初めての体験でした。

登録者は3名で皆さん1年生(18歳)でした。バンクのことはよく知っていました。内1名さんは、休憩テーブルで休んでいた時にチャンスを持ち声掛けすると「今日は献血できないのですが登録は出来るのですか」と聞いてきました(次の献血には日数が足りないとのこと)。3人共実際に患者さんとの検索に入るまで1年と少しかかりますが、若い方の登録には心強いものを感じました。大学の登録会が各大学に広がることを期待したい気持ちでいっぱいになりました。(柴谷)



登録3人・説明1人



登録8人・説明0人

### イオンモール木更津 5月14日(土) 説明員：西島夫妻

家から30分と近いことから、このところ毎月のように開かれる本会場での登録会に行っています。会場は木更津郊外の海側の広大な敷地に出来た巨大モール(といっても幕張よりは小さいが)のホールです。呼び込みは声掛けができないこともあり、現地の日赤奉仕団とライオンズクラブが交代でプラカードを持って歩くことで献血される人を誘導しています。

今日は18才の就職後の研修中の青年が来られ、3か月の研修が終わったら三重県へ戻るとか。赤ちゃんを連れて若奥さんが登録されたあと、ご主人にも勧めたら、すんなり応諾、ほほえましい雰囲気になりました。(西島隆)



登録1人・説明0人

### 八街市役所 5月18日(水) 説明員：尾木・北村美

八街市役所は八街駅北口から5分、八街は初参加の私。第1庁舎ロビーでのセッティングに少々不満が……。最前列に献血者の休憩机、その後ろに奉仕団の机でバンクの机は奥の4台の自販機の前。人の流れが遮断されたような位置にあり導線が長すぎると感じました。日赤の責任者にはこれまでも「机の場所では少しは声を掛けてほしい」と思ったことが度々ありました。責任者の名前も知らないまま仕事をしている現場……。思わず、北村さんに不満をもらしてしまいました。

ひよんなことから八街市の町名に「へえ～」と感心することばかり。文違(ひじかい)大谷流(おおや)小谷流(こや)砂(いさご)、「いろはにほへ」の町名など八街はワUNDERだらけ!説明者もなく終えた登録会でしたが、バンクニュースを渡し、「家族で読んでください」と声掛けしました。自販機の補充に見えた若者が、「親が白血病で亡くなったんだっけ」とぼろっと話してくれました。(尾木)

その他の登録会報告	4月	登録者	説明受講	説明員
千葉大学	11日(月)	1人	3人	円東、北村美
国際武道大学	13日(水)	2人	1人	円東、北村美
千葉大学	14日(木)	3人	1人	西島一、円東
イオンモール木更津	16日(土)	6人	0人	山本栄、円東
イオンモール木更津	17日(日)	7人	6人	西島夫妻
モノレールちば駅	20日(水)	1人	1人	北村、柴谷
市原市役所	21日(木)	0人	4人	西島夫妻
君津市保健福祉センター	22日(金)	7人	1人	西島夫妻
イオンモール成田	23日(土)	3人	3人	石橋、熊倉夫妻
イオンモール成田	24日(日)	6人	3人	山本栄、円東

その他の登録会報告	5月	登録者	説明受講	説明員
幕張メッセ	3日(火)	4人	3人	梅田、北村夫妻、円東、山本栄、久永、西前
幕張メッセ	4日(水)	5人	4人	戸辺、溝口、円東、石橋、河口
幕張メッセ	5日(木)	3人	0人	小泉、戸辺、山本栄、河口、西島夫妻
unimoちはら台事業所	14日(土)	4人	4人	熊倉夫妻、荒井育
unimoちはら台事業所	15日(日)	5人	2人	北村夫妻
イオンモール木更津	15日(日)	1人	5人	河口
三井化学(株)袖ヶ浦センター	19日(木)	0人	2人	円東、西島隆
イオンモール成田	21日(土)	3人	1人	北村夫妻
イオンモール成田	22日(日)	1人	5人	円東、山本栄
住友化学(株)袖ヶ浦地区	23日(月)	1人	0人	西島隆、山口
住友化学(株)姉崎地区	23日(月)	0人	0人	円東、西島一
袖ヶ浦市保健センター	24日(火)	1人	0人	西島隆、円東
四街道市役所	25日(水)	2人	0人	北村美
イオンモール幕張新都心	29日(日)	6人	2人	尾木、河口
献血ルーム 船橋フェイス	31日(火)	3人	0人	河口、荒井育

## 医療講演会レポート

4月22日、東大医科研附属病院市民公開医療懇談会「血液がんの診療～これまでとこれから」（講演者：東條有伸教授）を聴講して参りましたので概要を報告します。

現在、従来の抗がん剤に加えて、分子標的薬、抗体薬などの新しい薬剤が開発、実用化されてきて、この分野での治療成績向上に貢献しているとのこと。例えばCMLのイマチニブ（グリペック）、MDSのアザシチジン（ビダーザ）、悪性リンパ腫のリツキシマブ等です。

これらの分子標的薬、抗体薬の分野では、現在、申請中の薬を含め、多くの薬剤が開発されてきているとの紹介がありました。

また、最近、免疫療法（細胞移植を含む）が注目されて来ているそうです。ひとつは、がんチェックポイント阻害療法で、がん細胞がT細胞の攻撃にブレーキをかけるのを阻害するもので、皮膚がん（メラノーマ）の治療に期待されている。また、キメラ抗原受容体CARをT細胞に導入し、がん細胞を攻撃させるものは、急性リンパ性白血病（ALL）等の治療に期待されています。

このように新しい治療法が多く開発され始めている中、それらをどのように、うまく使うのか。また高額となる医療費の問題も生じています。そのためには、ヒトの正常細胞及びがん細胞のゲノム情報が必要です。病気に特徴的な遺伝子変異の情報を集積し、エビデンスを創出する必要があると、米国において進んでいます。これら病気のゲノム情報に基づく治療法による米国の成功例も紹介されました。

最後に私の感想としては、個人別の正常、病気の遺伝子情報により、がん治療に向け、その方の最適治療法が選択されていく時代が、近い将来、実現していくのではないかと思います。（溝口）

### ドナーサポートダイヤル

0120-892-106

ドナー経験者さんが骨髄提供に向けて  
登録者の不安に対応します。

（認定NPO法人 全国骨髄バンク推進連絡協議会）

### 患者・家族電話相談「白血病フリーダイヤル」

0120-81-5929

毎週土曜日 10:00-16:00

毎月第2、4土曜日には

血液専門医も相談に応じます。

（認定NPO法人 全国骨髄バンク推進連絡協議会）

### 大切な思い 建正君のこと

3年ぶりにシンガポールを訪れました。今回は中学生になった建正君に逢いたい。約10年前、彼は2才で発病、骨髄移植を受けるため来日。しかし、熱が下がらず、飛行機に乗るのも躊躇、それでも何とか名古屋赤十字病院に着きました。その後、移植のため、名古屋大学附属病院へ転院、なかなかドナーさんが見つからず、お母さんからの移植を決断。その直後、救いの神のドナーさんが承諾、無事バンクを通しての移植に成功しました。

その彼が中学生になったのです。英語、日本語を駆使し、スマホを巧みに使い（流しのタクシーもスマホで呼んで下さり。）とてもCleverな少年に成長していました。パパ、ママのしっかりとした教育と愛情も感じられました。お会いでき感動でした。

このことでは沢山の偶然が重なり、今に至っています。まず10年前、船橋で千葉の会主催の医療相談会が開かれ、その時に建正君のお婆様が相談に来られました。小児科のDrと相談をされていましたが、シンガポール在住ということで、私が内に入るようになりました。まず輸血用の血液が必要とのこと。

ここにも又偶然が重なりました。丁度その時期、会長の梅田さんがシンガポールに出張中でした。すぐに連絡を取り会長の会社の社員の方（たまたま大学の先輩がシンガポールで勤務中でした）を通じての血液集めから始めました。血液集めに奔走して下さった方はなんと私も存じ上げている方でした。その当時、私の息子が名古屋に住んでいたため、たびたび建正君のお見舞いに行くこともできました。

このようにいくつもの偶然が重なりました。世の中どこかで繋がっているのだと、感じています。

私の22年間のボランティア活動の中で、大切な思いのひとつです。（西島一恵）



大きくなった建正君と共に

### イエローシートキャンペーン

4月10日にイオン柏店にて行われたイオンシート贈呈式に、高橋さんと共に参列し、133,600円相当の寄付金のクオカードを頂きました。

千葉の会では、その寄付金で、「骨髄バンク登録記念」と印字した3色ボールペンを作成し、県内の登録会でドナー登録された方に登録記念として、1本ずつお渡ししています。今回のご寄付により今年には324本用意いたしました。このボールペンを見るたびに患者さんが待っていることを思い返していただけたらと思います。」（河川）



# 日本骨髄バンクと千葉県の登録者数最新情報 (2016年4月末現在)

	全国(累計)	対前号増減数	対前年増減数	千葉県(累計)	対前号増減数	対前年増減数
ドナー登録者数	459,365	+1,394	+8,280	13,530	+51	+220
累計患者登録者数	47,331	+493	+3,054	1,864	+20	+119
累計移植例数	19,201	+196	+1,237	605	+5	+35

## 会員紹介 ～久永幸子～

2000年にドナー登録し、8年目にドナー候補の一人になるも、血圧が高くコーディネート終了。当時、提供は50歳まで「ラストチャンスだったのに!!」と、本当に落ち込みました。

反省して生活習慣を改め、ウォーキングを始め8年が過ぎました。現在、健康で生活できるのも「ドナー登録」をしたおかげと感謝しています。

この4月に夫が定年退職し、自営を手伝ってくれることになり、自分の時間を何かの形にしたいと思い、参加を決意しました。

何かの技能もありませんが、これからいろいろ覚え、お役に立てるよう、努力していきますので、よろしくお願いいたします。



## 四国漫遊記 その2 (全6回) 「ルート」

遍路の道順は特に規定はありません。但し、お寺には一番から八十八番まで番号が振ってありこの順番に歩くのが順打ちと言って一番間違いがありません。大概の人がこの順番で回ります。なお、反時計方向は逆打ちといいますが、道標が逆なので経験者でないと見落とすことがあります。

この度は順路で回りましたので、徳島県～高知県～愛媛県～香川県のルートで歩きました。なお、車やバイクで回る方、バスツアーで回る方などは歩き遍路道路とは違う道路となります。

初日と2日目は一般道を歩いたのですが、3日目からは難所(別名:お遍路転がし)が待ち受けており、ちょっとした登山並みの坂道と山路で、準備はしていたつもりですが辛い修行(?)となりました。おまけに小雨と寒さも加わり、12番焼山寺に着いたときは参拝後に休憩所ですばらく暖をとるありさまでした。

しかしこの休憩所で知り合った人が離れられない人となり、その後ずっと同行することとなりました。なお、この他に登山並みの遍路道は6～7カ所あるので事前の準備が必要です。

ところで、お遍路道は添付図を見ても各所に偏在しており、1日に数カ所行ける場合もあれば、室戸岬や足摺岬近辺のお寺は何もないところを数日歩く場合もあります。また、行ったり戻ったりするコースも結構あり、方向感覚が失われそうです。遍路本は進行方向に記載されているので地図上の東西南北がころころ変わりますので要注意です。(円東)



## 今後(6～7月)の予定(お知らせ)

### 普及啓発活動

- ・イエローシートキャンペーン 6月11日
- ・姉ヶ崎駅 市民ギャラリーでのパル展 6月21～30日

### ドナー登録会

- ・フルルガーデン八千代 6月12日
- ・東庄町役場 6月17日
- ・イオンモール成田 6月19日
- ・白井市役所 6月24日
- ・イオンモール木更津 6月25・26日
- ・柏 献血ルーム 6月28日

### 定例会予定

日時 7月3日(日) 14時00分  
場所 船橋市中央公民館 第3集会室

## ここからの寄付、ありがとうございます

野田県議報告会ご参加の皆様 34,311円 岡野 ふさ子 様 2,000円  
佐藤 秀哉 様 20,000円 川井 寿江 様 2,000円  
向井 圭子 様 5,000円 佐野 正枝 様 2,000円

### <編集後記>

総会も終わり、また新たな活動年度が始まりました。松戸市のドナー助成制度の請願書作成のため、昔の資料を確認していたら、14年前、2002年の総会資料が出てきました。前年2001年のドナー登録会はキャンペーン登録会(単独での集団登録会)が5回、献血併行登録会が8回の合計13回、登録者は183名でした。この年に全国で初めて千葉県で企業での献血併行登録会が始まりました。

昨年度、千葉の会で携わった登録会は126回、登録者は737名。登録会数は当時の約10倍です。この差は千葉の会メンバーの熱い思いと努力の賜物、頭が下がるばかりです。

ボランティアが関わる形で始まった登録会から十数年。日赤が主体となって登録会に携わるまであと少しのところまで来ていると思うのは私だけではないはず。バトンタッチするその日まで、もうひと頑張り。今年もみんなで楽しく活動しましょう。(紀)